



妹山

令和 3年 3月 1日発行

吉野町立吉野中学校

文責 校長 紙岡秀樹

本校教育目標

学び合い、鍛え合い、
ともに生きる



逃げる2月が終わり、令和2年度の最終月となりました。妹山新聞も今年度最終号となりました。1年間ありがとうございました。さて、学校は今、受験の真っ只中。県内外私学、特色選抜が終わり、残りはあと、公立一般入試のみとなりました。受験は個人のことですが、クラス全体で乗り越えるものと子どもたちに言ってきました。3年生の引き締まった顔・顔・顔！！来年、再来年には今の1・2年生が経験します。吉野中学校の全校生徒が困難に立ち向かい、決して逃げることを覚えない、そんな人間に成長してもらいたいです。

1、吉野中学校にカヌー部ができます。

町・教育委員会とも相談し、令和3年度より本校にカヌー部を作る運びとなりました。保護者の方々はじめ地域の皆さまより、多くの部活を作ってほしいというご意見があることは承知させていただいています。そのような中で、なぜ、今カヌー部を作るのかということの説明させていただきます。



皆さまもご存じの通り、令和4年5月には、関西一円でワールドマスターズゲームズ（4年に1回開催される生涯スポーツの世界大会）が開催され、吉野町津風呂湖でカヌーの世界大会が実施されます。吉野町はこれを契機にカヌーを始めとした生涯スポーツや産業・観光の振興を図り、地域の活性化をめざしています。また、小中学校でのカヌー教室等によりカヌー熱も徐々に小学生



にひろがってきていること、他市町村にはない吉野町だからこそできるカヌー競技の恵まれた施設や設備があること、さらに地元吉野高校（来年からは奈良南高校）の専門の先生に技術指導していただけるといった部活動の環境が整備されたことが理由です。地域では、多くのスポーツを活発に活動されておりますが、カヌー部設立に関しましてご理解とご協力をお願いします。

2、命の大切さを学びました。



2月18日(木)に1年生で心友助産院の助産師さんによる「命の大切さ」をテーマにした『思春期教室』を開催しました。思春期の子どもたちは身体的にも精神的にも不安定であり、人工妊娠中絶・性感染症・喫煙・自殺等の問題行動が発生しやすい時期です。また、今年はコロナウイルス感染症の拡大のため、全国的に虐待・不登校・いじめ・自殺が増えています。このようなことを考慮して、自分や他者の命を大切にし、健康で豊かな人間関係を築き責任ある行動ができるようにという目的で実施しました。この教室で子どもたちは、自分は周りの人々によって守られ支えられていることを学び、「命の大切さ」を改めて感じました。



3、ゆりやんさんとオンライン授業を行いました。

2月17日(水)にキャリア教育の一環として、本町国栖出身であるゆりやんレトリィバァさんとオンラインでキャリア教育特別授業を行いました。ゆりやんさん自身の芸人になるという夢を実現させた背景や、実現させる過程でゆりやんさんが感じたこと等をユーモアを織り交ぜながら約1時間の授業を聞きました。自身が中学時代にいじめられていたことを告白し、「中学生にとっては学校しかないが、社会に出たらもっと広い世界がある」「しんどいことがあっても無駄ではないことを信じてほしい。今がすべてではない」「今になれば、社会に出たら必要としてくれる人がいるということが、ほんまにわかった。いじめられた経験があったから今がある。嫌なことも絶対に無駄ではないと信じてほしい」と生徒たちに励ますように語ってくれました。最後には、即興でネタを膨らませ、生徒や教師が参加するコントに大発展し、世の中が暗くなっているこの時代に、明るく、大きな笑いに学校中が包まれた1時間となりました。



4、最終下校時刻が変わります。



3月1日から最終下校時刻が、17時50分となります。3月に入ったからといっても天候の悪い日などは暗い日もあると思います。不審者や交通安全等については学校の方でも充分注意をしますがご家庭の方でもよろしくお願いします。